

達成状況評価書(平成24年度)

部局名: 言語文化研究科

項目	コメント
1. 教育 (大学の年度計画: 1~7)	<p>教育に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、大学院高度副プログラム「言語情報処理の手法と展開」を継続して開講し、「文化と植民地主義」について平成25年度からの新規開講を決定したほか、高度教養教育科目として研究科の授業10科目を提供するとともに、平成25年に上級外国語8科目を追加提供するなど積極的に取り組んでいる。また、日本語・日本文化専攻の新設、年8回(参加者延べ108名)の部局独自のFDの実施など、積極的に取り組み、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
2. 研究 (大学の年度計画: 8~10)	<p>研究に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、6名の外国人特任教員を採用し、女性教員については、平成24年度に助教1名、平成25年に新任教員10名のうち、女性教員4名の採用を決定するなど、大学の年度計画の達成に貢献している。また、言語文化学の基礎的研究を推進するため「言語文化共同プロジェクト」を17件立ち上げ、これらに予算配分を行うなど、積極的に取り組んでいる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
3. その他 (大学の年度計画: 11~16)	<p>(1) 社会連携、社会貢献 (2) 国際交流</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、積極的に取り組んでおり、計画は達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 特になし。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
4. 業務運営以降 (大学の年度計画: 17~29)	<p>業務運営全体に関する年度計画の達成状況</p> <p>【年度計画の達成状況】 平成24年度は、特筆すべき取り組みが行われており、計画は上回って達成されていると判断できる。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、旧世界言語センターの教員全員を研究科に所属させるとともに、日本語・日本文化専攻を新設したほか、言語社会専攻の拡充再編を図るなどして、新しい教育研究組織を発足させたことは、特筆すべき取り組みであり、大学の実績として評価できる。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>
5. 全体の項目に関する達成状況	<p>【中期計画の達成状況】 中期計画の達成に向けて、年度計画は順調に遂行されていると判断できる。引き続き、現行の取組を維持するよう期待する。</p> <p>【特記事項】 平成24年度は、教育研究組織再編のメリットを活かし、概算要求事項や博士課程教育リーディングプログラムの採択・実施に貢献するなど、特筆すべき取り組みがなされている。</p> <p>【留意事項】 特になし。</p>